

- 会津 3月12日 喜多方市役所
- (2) 内容 「スポーツ教室運営の実際」を中心とした研究発表(11市町村)と社会体育全般にわたる諸問題についての研究協議会であった。
- (3) 参加者 体育指導委員, 市町村教育委員会職員 200名

本年度はじめてのスポーツ教室開設であったので, その反省会の意味でも非常に意義があり, また, 身近かな体育行事の実施方法について, 会員の尊い発表があり会員相互今後の参考になることが多かった。

### 13 県営体育館

現在延坪 868.7坪の体育館を有するが, 老朽がはなはだしく, そのうえ近代室内スポーツの実施に支障があるので, 37, 38年の2カ年計画をもって建築することになった。

建築規模は, 鉄筋コンクリート造2階建とし, 延坪数 1,800坪, 工費207,000,000円であり, 建築敷地は福島市道西の県有地(2,742.56坪)と決定し, 建築にあたっては, 設計および工事の実施に関し, 万全を期すため「県営体育館建築委員会」を設置し, 規模, 内容について答申を得た。建築設計については5社による競技設計とし, 3月3, 4日の両日審査会を開催し, 久米建築事務所が入選し, 現在実施設計中である。

なお, 建築委員会委員および現在までの経過概要は下記のとおりでである。

#### ① 県営体育館建築委員会

##### 委員

横井 政吉	県議会議員
半沢栄一郎	〃
小林七之助	〃
瀬戸 孝一	〃
浜島 崇	〃
佐久間利秋	〃
中尾 秀雄	県体協副会長
細川 健	県体操協会理事長
熊坂 寛	県バレーボール協会理事長
斎藤 芳正	県バスケットボール協会理事
後藤 寿二	県卓球連盟会長
小島忠左衛門	県バトミントン協会会長
鈴木 源六	福大教授
佐藤 実	福島市長
三枝 利光	市議会議員
三本杉国雄	市教育長
目黒徹一郎	福島市民交響楽団会長
湊 徹郎	県副知事
佐久間 敏	県出納長

皆川 迪夫	県総務部長
野田 二郎	県土木部長
大槻 文夫	県教育長
幹事	
鮫島 文男	県教育次長
中野 徹夫	県財政課長
結城 芳弘	県管財課長
久保田正光	県建築課長
菅野 栄吾	県財務課長
鈴木 勝枝	県保健体育課長

(順不同敬称略)

#### ② 県営体育館建築競技設計審査員

木村幸一郎	工博 早大教授
武 基雄	早大教授
吉武 泰水	工博 東大教授
藤本 盛久	工博 東工大教授
横井 政吉	県議会議員
湊 徹郎	県副知事
大槻 文夫	県教育長

(順不同敬称略)

#### ③ 競技設計指名会社

株式会社山下寿郎設計事務所
株式会社久米建築事務所
株式会社内藤建築事務所
日建設計工務株式会社
有限会社芦原義信建築設計研究所

#### ④ 現在までの経過概要

##### (イ) 県営体育館建築委員会委員幹事の委嘱

昭和37年9月20日

##### (ロ) 建築委員会

第1回委員会を昭和37年9月27日県庁3階会議室において開催し, 過去7回の建築委員会を開催し, 規模内容について審議された。

##### (ハ) 県営体育館建築に対する答申

昭和37年12月1日付をもって県営体育館建築委員会委員長より答申された。

##### (ニ) 建築設計

5社による競技設計とし, 昭和37年12月20日に提出期日を昭和38年2月28日とし, 参加依頼をする。

##### (ホ) 建築敷地試錘工事

昭和37年12月18日指名業者4名により, 敷地試錘工事入札の結果, 仙台市株式会社東北復建事務所が落札し, 昭和38年1月12日調査報告書が提出された。

##### (ヘ) 建築競技設計審査要綱の制定

昭和38年1月23日, 日本建築学会会議室において審査員出席のうえ制定した。

##### (ト) 建築競技設計審査会

昭和38年3月3, 4日の2日間県庁3階会議室にお